

2017年度 第5回 成田赤十字病院 治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2017年8月14日（月）16:00～17:20
開催場所	成田赤十字病院 研修棟2階 第1会議室
出席委員	医師（脇田 久、田中 圭、馳 亮太、植木 英亮） 薬剤師（君和田 貢、藤崎 良一） 事務（込山 克司、野村 佳央、福田 操） 外部委員（五十嵐 和子、日暮 謙二）
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>議題① 「ファイザー株式会社の依頼による初発の慢性期慢性骨髓性白血病患者を対象としたボスチニブの第2相試験」</p> <p>治験依頼書に基づき治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題② 「ノバルティスファーマ株式会社の依頼による慢性骨髓性白血病患者を対象としたAMN107A2408の第Ⅱ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題③ 「武田薬品工業株式会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髓腫を対象としたMLN9708の第3相試験」</p> <p>治験に関する変更申請書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題④ 「ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性多発性骨髓腫患者を対象としたdaratumumab, レナリドミド及びデキサメタゾン（DRd療法）とレナリドミド及びデキサメタゾン（Rd療法）の比較第III相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>

	<p>審議結果：承認</p> <p>議題⑤ 「ヤンセンファーマ株式会社の依頼による未治療多発性骨髓腫患者を対象とした JNJ-54767414 の第Ⅲ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>安全性情報の提供について報告した。</p> <p>議題⑥ 「大塚製薬株式会社の依頼による急性骨髓性白血病患者を対象とした SGI-110 の第Ⅲ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>議題⑦ 「アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髓性白血病を対象とする ASP2215 の第Ⅲ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>審議結果：承認</p> <p>試験実施に係る担当役員の変更とその取り扱いについて報告した。</p> <p>議題⑧ 「大日本住友製薬株式会社の依頼による DSP-7888 の骨髓異形成症候群(MDS)患者を対象とした第 1/2 相臨床試験」</p> <p>重篤な有害事象に関する報告書、安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性につい</p>
--	--

	<p>て審議した。</p> <p>審議結果：承認</p>
	<p>議題⑨ 「MSD 株式会社の依頼による MK-3475 の古典的ホジキンリンパ腫を対象とした第Ⅲ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>
	<p>審議結果：承認</p>
	<p>議題⑩ 「武田薬品工業株式会社の依頼によるイキサゾミブの第Ⅱ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書および治験に関する変更申請書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>
	<p>審議結果：承認</p>
	<p>議題⑪ 「大塚製薬株式会社の依頼による骨髓異形成症候群を対象とした SGI-110 の第Ⅲ相試験」</p> <p>重篤な有害事象に関する報告書および安全性情報等に関する報告書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>
	<p>審議結果：承認</p>
	<p>議題⑫ 「アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髓性白血病を対象とする ASP2215(維持) の第Ⅲ相試験」</p> <p>安全性情報等に関する報告書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>
	<p>審議結果：承認</p>

議題⑬ 「武田薬品工業株式会社の依頼による幹細胞移植歴のない初発の多発性骨髓腫患者を対象とした Ixazomib の第 3 相試験」

安全性情報等に関する報告書に基づき引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認